

WESTUNION

第328号

2018年8月3日

JR西労組よなご

西日本旅客鉄道労働組合
米子地方本部
発行責任者 廣澤 寿志
編集責任者 上倉 健司

第30回定期中央本部大会開催！！

次期定期中央本部大会の開催は米子地本管内に決定！！



7月11日(水)から13日(金)までの間、新大阪ワシントンホテルプラザで第30回定期中央本部大会が開催された。開催については、初となる本社総支部が担当し、代議員・傍聴者等で総勢550名が結集し、向こう1年間の運動方針を満場一致で確認した。

中央本部を代表して、荻山中央執行委員長が冒頭、7月5日から7日にかけて発生した西日本豪雨について、被災された組合員とその家族にお見舞い申し上げるとともに、懸命に復旧作業やお客様の安全確保やご案内にあたっていただいているグループを含めた組合員の尽力に敬意と感謝を述べられた。また、今大会の開催にあたり十分な配慮のうえで開催することに對して理解を求めた。その上で、職場からの安全確立、労働力不足への対応と「働き方改革」の推進等、大きく5点にわたり挨拶を述べられた。米子地本として、8名の代議員と29名の傍聴者が参加し、質疑では米子地本を代表し大川書記長が大きく5点の内容と次期定期中央本部大会の開催を米子で開催することを要請した。また、中央本部青年女性委員会の代表として鶴石青年女性委員長が民主化闘争等について力強く発言した。大会2日目では、「組織財政」と「業務・職場のあり方」の小委員会において、各支部代表の代議員が熱気あふれる発言を行い、大会に参加した。最後に、上村書記長による総括答弁が行われ、満場一致で運動方針を決定するとともに、全組合員の参加で、被災した組合員への救援カンパ活動を実施することが確認された。また、今大会の議長団を努めた広島地本の柿本忠則代議員が次期統一地方選挙において県議会議員選挙(広島東区)で出馬する決意を述べるとともに、同じく府議会議員選挙(山科選挙区)において出馬予定の京都地本、梶原英樹執行委員も力強く決意表明を述べた。最後に、今大会の準備にご尽力いただいた本社総支部の皆様にご心より感謝申し上げます。

議長団を努めた広島地本の柿本忠則代議員が次期統一地方選挙において県議会議員選挙(広島東区)で出馬する決意を述べるとともに、同じく府議会議員選挙(山科選挙区)において出馬予定の京都地本、梶原英樹執行委員も力強く決意表明を述べた。最後に、今大会の準備にご尽力いただいた本社総支部の皆様にご心より感謝申し上げます。

米子地本選出代議員が力強く発言する



大川代議員

①新計画が策定されたが、安全最優先の判断と行動の価値観が、グループも含めた全社員に浸透し実践できているのか検証を要請する。②組織については、大規模自然災害が多発するなか共済の重要性や知識を身に着けるべく、組織充実・強化とリンクした役員の育成の取り組みを行う。③18春闘については、米子地本のグループ労組も初のベア獲得が2単組あり、来春闘もJR西日本連合の中核単組として相乗効果の生れる春闘の構築を要請する。④地域活性化については、三江線廃止後の新しい交通体系の検証と山陰の鉄道を残すため地域活性化検討委員会を設置し自治体訪問活動の展開を推進する。⑤政治については、来春の統一地方選挙での組織内議員の必勝に向けて総力を挙げて取り組む。



尾川代議員
(地本)

①ワンマン列車拡大に伴い運賃遁脱の件数が増加しているが本部の見解はどうか。②新型車発機を扱いやすいよう薄型に改善するとともに、電波状況により使えない環境があるため改善されたい。③やくもの新型車両投入の際には、ユーザーの意見を取り入れた設計となるよう働きかけを要請する。



中嶋代議員
(地本青女)

①組休が使用可能な活動は限られており活動が制限されている。常任委員会を組休対象として活躍できる環境づくりをお願いしたい。②出産育児に関する制度は新設・改善が行われてきたが、社員の理解不足により使用しにくい現状となっている。女性社員だけでなく、全社員が対象の研修を要請する。



鶴石代議員

①総合職採用は入社1年目から課題研究があり現場を深く理解する間もなく異動となるが教育体制や運用について本部の見解を。②本部青女はグループ労組との交流に力をいるが、予算も少なく参加者が少ない等課題が多い。一定の予算の上乗せを要請する。③青女役員退任後も基本組織のポストへ登用できる体制の構築を要請する。



吉田代議員
(鳥取支部)

①防犯対策について、組合員の命を守る為に乗務員や駅係員への安全対策の教育や研修を要請する。②JRWESTレールパスは様々なエリアのパスが発売され利便性が向上している反面、効力の違いで案内に苦慮しているため設定について協議いただきたい。③55歳以降の基本給調整率について、モチベーションの低下を防ぐためにも本部・本社間で協議いただきたい。



松原代議員
(米子支部)

①衆議院議員選挙において、候補者個人を推薦するという方針に従い地本も希望の党の候補者を推薦決定したが、これには党を転籍した際の踏み絵のような経過等もあり運動に支障が出た。例えば、JR連合では比例に対しては地方連合会が決定した党に入れるということを決し、本部は地方連合会が推薦決定した候補者の政党を比例で投票するよう組合員に徹底するなどといった改善策の検討を強く要請する。



堀江代議員
(石見支部)

①地方ローカル線を取り巻く環境は厳しいが、三江線廃止の影響が他の路線に波及しないよう本部としても注視し検証いただくことを要請する。②同一労働同一賃金の観点から、シニア組合員のモチベーション向上となるような待遇改善と人材確保の観点から、育児制度と同様に月に数日の休日が取れるような短日数勤務の新設等、働きやすい環境づくりの検討をお願いしたい。